

事業コード	H29-建-継-07		区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	地方道路交付金事業(改築)		部局課室名	建設部 道路課
事業種別	一次改築(バイパス)		班 名	道路建設班 (tel) 018-860-2492
路線名等	一般国道108号		担当課長名	参事(兼) 道路課長 石川 浩司
箇所名	湯沢市秋ノ宮		担当者名	副主幹(兼) 班長 太田 哲
プランとの関連	政策コード	03	政策名	未来の交流を創り、支える観光・交通戦略
	施策コード	05	施策名	県土の骨格を形成する道路ネットワークの整備促進
	指標コード	03	施策目標(指標)名	地域間ネットワークの構築

## 1. 事業の概要

事業期間	H20 ~ H32(13年)	総事業費	23.6億円	国庫補助率	65.45		
事業規模	○延長L=1,771m、幅員W=6.0(11.0)m(1.25+3.0+3.0+1.25+2.5)m						
事業の立案に至る背景	○一般国道108号は宮城県石巻市を起点とし秋田県湯沢市を経て由利本荘市へ至るルートで、日本海側と太平洋側を横断的に結び、産業、経済の地域間交流を促進する重要な路線である。当該区間は通学路であり、バス路線に指定されるなど地域内交通を支える生活道路にもなっているが、幅員狭小(Wmin=5m)で急カーブ(Rmin=65m)が連続し、歩道も無く、交通事故が多発している。 ○道路利用者の安全と、第一次緊急輸送路としての機能を確保するため、早急に整備を行う必要がある。						
事業目的	○大型車のすれ違い困難箇所の解消(観光道路・物流道路) ○第一次緊急輸送路としての機能確保(防災・危機管理) ○現道拡幅及びバイパス整備による安全で円滑な交通の確保 ○高速ICへのアクセス機能強化(雄勝こまちIC)						
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等	
	事 業 費		1,450,000	2,360,000	910,000		
	内 訳	経 費	工 事 費	900,000	1,636,000	736,000	軟弱地盤が確認され、軽量盛土工法を採用したことによる工事費の増。
			用 補 費	350,000	428,000	78,000	建物調査の結果による補償費の増。
			そ の 他	200,000	296,000	96,000	地質調査費の増。
	財 源 内 訳	国庫補助		1,015,000	1,544,600	529,620	
		県 債		391,000	733,800	342,800	
そ の 他							
	一 般 財 源		44,000	81,580	37,580		
事 業 内 容		調査・設計 改良工 舗装工 橋梁工	調査・設計 改良工 舗装工 橋梁工			国庫補助率の変更による	
事業の進捗状況	○平成28年度末で事業進捗率88%(用地進捗率は99%)。 ○平成27年11月に、バイパス区間1,200mを供用済み。						
事業推進上の課題	○特になし						
関連する計画等	○湯沢市総合振興計画 ○湯沢市地域公共交通網形成計画 ○秋田県市町村未来づくり協働プログラム(秋ノ宮温泉郷を含むジオパーク関連)						
情勢の変化及び長期継続の理由	○東北中央自動車道 院内道路(上院内~下院内) H28.11.5供用開始 横堀道路(下院内~雄勝こまち) H27事業化 真室川雄勝道路(県境~上院内) H29事業化						
事業効果把握の手法及び効果	指 標 名	県管理国道改良率					
	指 標 式	整備率(整備済み延長/路線実延長)					
	指 標 の 種 類	○ 成果指標	● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無		
	目 標 値 a	94.5%		データ等の出典	道路課調べ		
	実 績 値 b	93.8%		把握の時期	平成29年 4月		
	達成率 b/a	99.3%					

前回評価結果等	<input checked="" type="radio"/> 選定または継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 保留または中止
	①指摘事項
	特になし
	②指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容 (特記事項)	評 価 点
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○当該区間は幅員狭小 (車道幅員 5 m) 及び線形不良 (最小曲線半径 6.5 m) で、冬期堆雪帯がなく、1 年を通じた交通の安全確保が望まれる。</li> <li>○通学路指定区間であるが、歩道が未整備の区間があり、車道を歩かざるを得ない。</li> <li>○平成 20 年度には死亡事故が発生している。</li> </ul>	12 点
緊 急 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○当該区域を含む湯沢地域では、秋田県市町村未来づくり協働プログラムとして「資源活用型ゆざわ地域づくり推進プロジェクト～ジオパーク認定を契機とした地域活性化プロジェクト～」を実施。関連施設を結ぶアクセス道路として、本路線の早急な整備が望まれている。</li> </ul>	10 点
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第一次緊急輸送道路であり、災害時の避難救助活動や救急医療施設へのアクセス道路としての活用が見込まれ、防災計画に重要な幹線道路である。</li> <li>○東北中央自動車道 (雄勝こまち IC) へのアクセス道路としての活用が見込まれる。</li> <li>○栗駒国立公園の観光拠点や秋ノ宮温泉郷への広域観光道路としての活用が見込まれる。</li> </ul>	26 点
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事業の費用便益比は 1.1 であり、効率性は高い。</li> <li>・ 総便益の現在価値 28.7 億円</li> <li>・ 総費用の現在価値 27.0 億円</li> </ul>	12 点
熟 度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平成 28 年度末の事業進捗率は 88% である。</li> <li>○平成 27 年 11 月に、1,200 m を供用開始済み。</li> </ul>	20 点
判 定	ランク ( <input checked="" type="radio"/> I <input type="radio"/> II <input type="radio"/> III )	80 点
	緊急性、有効性が高く、事業は引き続き実施すべきである。	
総合評価	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 中止 事業継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

コスト削減に努めながら、事業を継続する。
----------------------

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。
--------------

評価種別 継続箇所評価  
適用基準名 道路改築事業 (地域間交流・連携促進)

事業コード ( H29-建-継-07 )  
箇所名 ( 湯沢市秋ノ宮 )

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
必要性	道路の現状の問題					
	道路構造上の欠陥箇所数 ・車道幅員<5.5m ・最小半径<100m ・最急勾配>5% ・冬期堆雪巾なし	3箇所以上	8	8	車道幅員5.0m 最小半径65m 冬期堆雪巾なし 計 3箇所	
		2箇所	5			
		1箇所	3			
		0箇所	0			
		計				
	道路環境上の欠陥該当項目 ・現道の混雑度≥1.0 ・現道の旅行速度≤30km/h ・現道の事故率≥50件 ・通学路指定で歩道なし ・重大交通事故が発生	5件該当	7	4	通学路指定歩道なし 重大事故(H20死亡事故) 計 2箇所	
		4件該当	6			
		3件該当	5			
		2件該当	4			
		1件該当	2			
		該当項目なし	0			
	計	15	12			
	緊急性	道路をとりまく環境等				
		関連事業の有無 ・県の主要プロジェクト ・地域振興プロジェクト ・ほ場整備等の他事業	あり	10	10	湯沢市総合振興計画 湯沢市地域公共交通網形成計画 秋田県市町村未来づくり協働プログラム
なし			0			
計						
緊急度の高い課題の有無 老朽橋、災害危険箇所、 冬期通行不能区間等		あり	5	0		
		なし	0			
計	15	10				
有効性	道路の位置づけ					
	緊急輸送路	第1次輸送路	10	10	第1次緊急輸送道路	
		第2次輸送路	8			
		第3次輸送路	6			
		指定なし	0			
	救急医療施設へのアクセス	直接アクセスする	10	6	雄勝中央病院	
		間接的に補完する	6			
		アクセスへの貢献は小さい	3			
	社会変化による事業の必要性	必要性が高い	10	10	東北中央自動車道 院内道路H28供用 横城道路H27事業化 奥室川雄勝道路H29事業化	
		低下傾向	6			
必要性が低い		3				
計	30	26				
効率性	事業の投資効果等					
	費用便益比 (B/C)	1.0以上	5	5	B/C=1.1	
		1.0未満	0			
	計画交通量	5,000台/日以上	5	3	2,500台/日	
		1,000台/日以上~5,000台/日未満	3			
	コスト削減	あり	5	0		
		なし	0			
	事業中止による影響	既投資額の損失大	5	4	現拡張のみ(パイプ部供用済み)	
		既投資額の部分的損失	4			
		既投資額の損失が少ない	3			
計	20	12				
熟度	事業の進捗進捗状況					
	事業の進捗 (事業費)	8割以上完了	10	10	進捗率88%	
		5割以上完了	8			
		1割以上完了	5			
		1割未満	2			
		計				
	用地買収の進捗 (面積)	8割以上完了	10	10	進捗率99%	
		5割以上完了	8			
		1割以上完了	5			
		1割未満	2			
未着手		0				
計	20	20				
合計			100	80		

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上~80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		